



現地研修会に参加した自然散策担当者の皆さん

曾於市観光ボランティアガイドの現地研修会

曾於市観光特産開発センターは、自然散策の観光希望が多いことから、10月3日に悠久の森と大川原峡で、曾於市観光ボランティアガイドの自然散策担当者（9名）を対象に現地研修会を行いました。

講師は「くすの木自然館」の浜本奈鼓さんで、参加者は、インタープリター（ガイド）に必要なことや森林・植物・小動物等について学びました。

今後、自然散策ツアーで研修の成果を発揮し、ツアー客が満足するガイドになることと思います。



謝辞を述べる高木さん

半世紀の絆を振り返り

10月30日、曾於市末吉総合センターで「合同金婚式並びにひとり金婚者のつどい」が開催され、結婚50年を迎えられた70組の金婚者と12名のひとり金婚者の方々が出席されました。

出席者を代表して、高木秀久さん（たけき ひでひさ）が「この50年間、楽しい日もありましたが、苦しい時も多く、夫婦二人で力を合わせ頑張ってきました。これからも身体に合った仕事、趣味、社会活動を生きたいとして豊かな人生を続けていきたいと思います」と謝辞を述べられました。



ミニミニ運動会の様子

親子で楽しく運動会!!

10月29日、そお生いき健康センターで子育て支援センター主催の「ミニミニ運動会」が開催されました。

この運動会は、乳幼児を持つ子育て中の方を対象として行われており今年で8回目を迎えました。

当日は、50組を超える親子が参加し、かけっこやハイハイ競争、ダンス、玉入れなど楽しいプログラムに大きな声援を送りながら楽しいひとときを過ごしました。

かわいい子どもたちのこれからの成長が楽しみです。



幸運の柚子

曾於市特産「ゆず」の新商品が販売開始

曾於市観光特産開発センターは、曾於市特産の柚子をPRするため、「幸運の柚子」を鹿兒島市の卓味屋と共同開発しました。

この「幸運の柚子」は、柚子果汁を加えた上質の桃山生地で、市内産の柚子皮と果汁を入れた餡を包んでいます。とても香りが良く、口溶けの良い仕上がりとなっています。

販売は、開発センター、市内3力所の道の駅で販売しています。お茶うけやお土産用としてぜひお買い求め下さい。

国営曾於北部農業水利事業完工式



完工式の様子

10月10日、財部きらめきセンターで国営かんがい排水事業「曾於北部地区」の完工式が行われました。

火山灰に覆われた特殊土壌地帯で、干ばつ被害に悩まされていた本地域は、平成8年度に農業生産性の向上と農業経営の安定を図るため、市内約2千鈔の畑地を対象に曾於北部農業水利事業に着手し、本年度で事業が完了します。

今後は、本事業で整備されたかんがい施設が有効に活用され、本地域の農業のさらなる発展が期待されます。

第12回全国鬼サミットin熊野・鬼ヶ城に参加



全国鬼サミットの様子

10月4日、「鬼文化」交流祭典サミット会議が三重県熊野市で開催され末吉町の鬼追い保存会等が出席しました。

これは来年、「国民文化祭かごしま2015」の一つとして行われる「全国鬼サミット」を曾於市で開催することから、全国の鬼に関する行事やまちおこしを行っている自治体および団体に参加を促すために出席したものです。今回の鬼サミットで多くの団体から参加の了承をいただきました。

来年の地元での開催に是非で来場ください。

曾於地区退職公務員連盟 老人ホームを慰問



利用者の方と一緒におはら節

10月17日、曾於地区退職公務員連盟末吉分会（分会長・原口輝男さん）の会員6名が、特別養護老人ホーム「清寿園」を訪問して、利用者の方々と交流を深めました。

当日は、10月誕生会ということで4名の誕生者をお祝い。秋の童謡や寸劇、カラオケ、踊りなどを披露しました。最後には利用者の方も交えておはら節を踊り、会場は一体となりました。「楽しかった」「また来てください」と喜びの声が聞けて、会員も満足する訪問活動となりました。

昔遊びを体験



コマまわしを体験する児童

11月5日、末吉小学校で1年生の児童を対象とした昔遊び体験が行われました。

この活動は17年前から、毎年11月頃に実施。指導者として30名の地域ボランティアの方が昔遊びを教え、伝えました。

コマまわし、けん玉、ケンパなど合計12の遊びを体験した児童は、笑顔で楽しんでいました。主催者代表の大森貢さんは「子どもたちはもちろん、指導者にも昔を思い出して楽しんで欲しい」と話しました。



平和メッセージを朗読する栗屋さん

平和への願いを込めて

10月22日、市戦没者追悼式が末吉総合センターで挙行され、遺族や関係者など378人が参列しました。

式では、献詠や代表者による献花がおこなわれ、参列者一人ひとりが戦没者の冥福を祈りました。また、今年度から始まった平和メッセージでは、末吉小5年の栗屋衣里さんが祖父の戦争体験談をもとに、平和のありがたさと大切さについて朗読しました。

平和と繁栄の陰には多くの尊い犠牲があったことを後世に伝え、戦火のない平和への誓いを新たにしました。



史跡の前で説明を聞く子どもたち

南峰文化研究会 ふるさとの歴史伝える

10月26日、南峰文化研究会代表勝目興郎さんと会員ガイドによる小学生対象の史跡巡りが行われました。

今回は、末吉町内の史跡をバスと徒歩で訪ねました。まず、同町橋野にある島津発祥の開祖、平季基の墓所や神社を周りました。会員の説明を聞きながら参加者は興味津々。山城址の平松城では、空堀を見学し秋の散策を楽しみました。古事記伝承地の憶神社では神話を聞き、安産子育地蔵（おっぱい水）の見学や、小戸池の鯉にエサをあげたり様々な体験を行いました。



ロープ渡過を体験する子ども

曾於消防署 親子ふれあいフェスティバル

11月16日、曾於消防署で「親子ふれあいフェスティバル」が開催され、子ども連れの親子など450名が来場しました。

このイベントは、市民の皆さんに消防を知ってもらう、身近に感じてほしいとの思いで始まり、今回で3回目。消防車や救急車の展示、子ども用消防服に着替えての放水体験、高さ5メートルのクライミングに挑戦するコーナーなど様々な体験ブースに子どもたちは大興奮でした。来年は志布志消防署で開催予定です。



イメージキャラクターとふれあう子どもたち

「じんけんってなあくに」運動

10月7日、末吉総合体育館で「じんけんってなあくに」運動が行われました。

この運動は、来年度小学校就学予定児を対象に、人権とは何かという理解を深めるために毎年開催しています。

開校式では、人権についてわかりやすいビデオの上映や人権擁護委員のお話、イメージキャラクターとのふれあいや写真撮影を行いました。また、人権週間期間の12月4日～10日まで本庁、各支所玄関ロビーにて参加した園児のぬり絵を展示します。